

昨今の相談の特徴は大きく組織を展開するような事案が少なく、ヒラに書いたり宣伝したりできない相談が多くあります。

先人らが築いてきた港合同という財産を私たちは更に前進させ、組織拡大に向けて闘いをすすめるなければなりません。

原発事故の収束もままならない現実の中で再稼働が現実化されており、安倍首相のペースに全体が引き込まれています。

私たちは、働く者こそが時代を担うのだと自覚を持ちながら、引き続き多くの仲間と連帯し前進しましょう。

各支部・分会から年頭挨拶

地域闘争の前進を糧に組織強化・拡大に向け 二〇一五年、港合同一丸となつてがんばろう！

時代の分水嶺に立ち向かおう！

田中機械支部

敗戦七〇年、今年は国内外政治、経済にとって意味深い年になりそうだ。

もちろんその根源的なものは、「日本を取り戻す」「強い日本」「戦後

シジュールムからの脱却」などの情緒的言動で歴史

に名を刻み、長期政権を

目指そうと欲してやまな

い安倍首相のDNAに根

差す。

安倍にとつての戦後シジュールムとは何か、誰か

ら何を取り戻すのか。対

米協調を掲げ、その実、

対米従属の一点において

貫かれてきた「戦後安全

保障政策」を堅持しながらの上記スローガンは自

己矛盾に満ちている。

元来、一つの歴史の事実においても、よつて立つ

つ観点によつて、評価は一八〇度異なつてしまふ。

そもそも、「自存自衛

の戦争か、侵略戦争か」

「終戦なのか、敗戦なのか」

「GHQによる押しつけ憲法なのか、世界に

冠たる平和憲法なのか」

等々である。

しかし前者はいずれも

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

人々の記憶に鮮明に焼き付いているときには少数者としてなりをひそめる。

それがゾンビのごとく蘇り、跳梁跋扈するのは、その歴史的事実の生き証人が次々と鬼籍に入り、

あたかも晴天が暗雲によってかき消され、真実が封印されていくときである。

現役を退いたとはいえ、自民党歴代の重鎮が憲法の危機を叫ぶ昨今ほど危

機的狀況はないといえる。

国民主権を脅かし、戦争放棄を骨抜きにし、立憲主義をも無視するがごと

き為政者の暴走を食い止めることができるのか。私達の真贋を見極める

深い洞察力が試されている。「この道しかない！」

と声高に叫ばれる道を、戦前の「いつか来た道」に陥らせないためにも。

継続して争議解決後の課題に取り組む
南労会支部

争議全面解決の勝利和解から早いもので一年一〇カ月が経ちました。

二〇一三年十一月には

南労会支部の定期大会を開催し、NPOみなと合同ケアセンターの労働者

も支部組合員として合流

する組織整備を行ないました。そして、昨年十一月に争議解決後二回目の定期大会を、組合員が二八名に増える中で開催して、具体的な支部運営の方法を確認したところで

争議が解決したことを契機に、争議解決後の支部の課題が明確となりました。一つは、南労会設立の趣旨を踏まえた松浦

診療所の存続・再建です。もう一つは、港合同・

田中機械支部の全面的な支援により労働者事業として開始したNPOみな

と合同ケアセンターの運営・経営面での強化・発展です。

松浦診療所の再建につ

いては、争議解決後、支部の協力にもかかわらず、ますます経営状態が悪化

し、全く軌道に乗っていない状態です。紀和病院のI組合員を松浦診療所

に取り戻すことができていないばかりか、昨年一〇月にはS組合員が業務

上の必要性からではなく、松浦診療所歯科の人減らしのために紀和病院グループのみどりクリニックへ

配転されてしまいました。さらに、和解時の約束に

反し、争議中の勤務時間の問題を理由に退職金を大幅に減額することも一

方的に通告してきています。南労会の姿勢には松

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

浦診療所存続の意思をうかがうことができないと言わざるを得ない実態であり、組合側が再建を主導するような闘いを展開できるかが問われています。

一方、NPOみなと合同ケアセンターの経営については、昨年一年間を通じて少しづつ上向いています。しかし、これには介護労働者の賃金が低く抑えられていることが基盤にあります。

昨年十二月、全港湾大阪支部・全日建関西地区生コン支部・港合同の三労組の呼びかけで「労働運動再生をめざす懇談会」が開催されました。この

懇談会の報告の一つとして介護業界及び介護労働者の実態について南労会支部の大野書記長が報告し、注目を集めました。介護業界全体を一つの産別として労働組合に組織化できないか活発な議論が行なわれました。まだ、

イツツヤ分会

「靖国参拝」や「秘密保護法」そして「集団的自衛権」など戦争政治に突き進む安倍政権、また橋下市長の数々の差別行政や人権侵害など私達が絶対容認することが出来ない政治が吹き荒れてきたにもかかわらず、年末

ようやく端緒についたところですが、労働者事業として介護保険事業を行なっている南労会支部としては、港合同の新たな組織拡大の闘いの一環と認識し、全力で担っていかなくてはならないと考えているところです。

の衆議院選挙は予想通り(?) 与党の圧勝、そして「維新」も一定の議席を確保して終わりました。「なんでみんなはこんな政治に危機意識を持たないんやろか？」不思議でなりません。しかし今の世の中、憲法の条文を

南大阪平和人権連帯会議 団結旗開き

◇日時：2015年1月16日(金) 18：30より
◇場所：田中機械ホール

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

全く知らないとか、自衛隊は軍隊だと認識している人々が多数いるそうです。また毎日のようにテレビで見かける政治評論家は「今の憲法は現実とあまりにも乖離している。憲法をもっと現実に近づけるべき」と露骨に改憲を主張していました。思わず「逆やろ、現実を憲法に近づけなあかんやろ!」と怒っている自分がいました。いずれにせよ、すでにこんな反動的言辞が堂々とまかり通る日本であることを見据えなければならぬと思います。

今年もますます反動政治との闘いが多くなると思いますが、港合同の一員として老体(?)に鞭打ってがんばりたいと思います。最後に新聞で見かけた川柳「うけるのと民意は

アート・アド分会

あけましておめでとうございます。

出し戦争へと突き進んでいくようにしよう。

昨年は衆議院選挙があり、安倍自民党が過半数以上の議席を獲得しました。秘密保護法も集団的自衛権も信任を得たばかり、もうさっそく、国産戦闘機の開発に防衛省が乗り出すとニュースで報じられています(二〇一四年一月二十八日)。

しかし、安倍政権を批判する人たちはたくさんいます。今の選挙制度が私たちの気持ちを表すものになっていないと強く感じます。私達は微力ですが、みなさんと力を合わせて、労働運動を通じ、すこしでも世の中を変えていければと思っています。原発反対運動を続けな

違いで市長さん」座布団一枚!!!
本年もよろしくお願ひします。

港合同・団結旗開き

日時：2015年1月23日(金)18時より

場所：田中機械ホール

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

がら組織拡大にも少しでも役に立てたらと考えています。

今年もよろしく願います。

サンコー コーポレート 分会

新年あけましておめでとございます。

んに感謝いたします。

この一月でサンコー分会闘争終結から十三年目を迎えることになりました。

現在のにも困難なことは山ほどありますが、なんとしても自主生産の旗を守っていく所存であります。

昨年末には新たな分会員を迎え、現在三名の間でサンコー分会は元気にやっていきたいと思っています。

そして、分会結成から倒産争議、自主生産突入

と現在にいたる過程で港合同のみなさんと支援してくださっているみなさ

今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。

昌一金属支部

港合同各支部・分会の仲間にも挨拶を送ります。

追い込み、橋下維新の会をポロポロにしてみました。敵が攻撃を強めるほどに団結と闘いが強化・拡大されてきたのです。

昨年は集団的自衛権行使容認の閣議決定、辺野古新基地建設の強行、消費税増税、民営化や非正規職化、格差と貧困の拡大等々、安倍政権や大阪

では橋下市政による激しい攻撃がいくつもありませんでしたが、それは同時に労働者・住民のもう我慢ならない怒りを、労働組合が軸になって一つに団結させ、行動に立ち上がりました。

そのことが安倍政権を年末の解散・衆院選挙に

二〇一五年、港合同が団結権を堅持して守り抜いてきた闘う組織が時代の主役となるべき年です。目前に迫った一五春闘。

「官製春闘」を打ち破って労働組合の力で大幅賃上げを勝ち取る、アベノミクスによる中小零細企業の倒産・大量解雇に対して組織拡大で対決する、

改憲・戦争の安倍政権を打倒する、大いに行動し、闘い、勝利しましょう！

そのことが安倍政権を年末の解散・衆院選挙に

改憲・戦争の安倍政権を打倒する、大いに行動し、闘い、勝利しましょう！

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！